

| | | | |
|-----------------------|--|---------|---|
| 1. 科目名 (単位数) | 心理実習 (2 単位) | 3. 科目番号 | PSMP4357 |
| 2. 授業担当教員 | 長坂 正文 | | |
| 4. 授業形態 | 演習、実習 | 5. 開講学期 | 通年 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 「人体の構造と機能及び疾病」「心理学概論」「心理学統計法」「発達心理学」「臨床心理学概論」「社会・集団・家族心理学(社会・集団)」「心理学的支援法(基礎)」「心理学実験」「知覚・認知心理学」「精神疾患とその治療」「心理学研究法」「教育・学校心理学」「心理的アセスメント」「障害者・障害児心理学」「心理学的支援法(演習)」「関係行政論」「健康・医療心理学」「心理演習」「公認心理師の職責」(計 20 科目) 全てを履修済みであること。 | | |
| 7. 講義概要 | 本科目は、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の 5 つの分野の施設において、次の(ア)から(ウ)までに掲げる事項について、見学等による実習を行いながら、当該施設の実習指導者又は教員による指導を受ける(ただし、経過措置として当分の間は、医療機関での実習を必須とし、医療機関以外の施設での実習については適宜行う)。(ア)心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ(イ)多職種連携及び地域連携(ウ)公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解 | | |
| 8. 学習目標 | 本科目は、次の(ア)から(ウ)までに掲げる事項について、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の 5 つの分野の施設において見学等による実習を行いながら、当該施設の実習指導者又は教員による指導を受ける(ただし、経過措置として当分の間は、医療機関での実習を必須とし、医療機関以外の施設での実習については適宜行う)。(ア)心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ(イ)多職種連携及び地域連携(ウ)公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解。これにより、(ア)から(ウ)の事項についての基本的な水準の知識及び技能を理解し、習得できることを目標とする。 | | |
| 9. アサイメント(宿題)及びレポート課題 | 事前学習において、授業の中で取り扱う予定の内容について調べておき、事後学習では授業内で扱った重要語句を 500 字程度で纏めておくこと。レポート課題の内容は授業終盤に提示する。レポート課題の提出期限は授業最終日とする。 | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | 【教科書】心理実習の手引き 【参考書】野島一彦編『公認心理師の職責』遠見書房、2018。 | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | ○成績評価の規準 学習目標にあげた(ア)～(ウ)の 3 項目について、54 時間の学外実習を終了した上で、基本的な知識の習得、ならびにロールプレイングや事例検討への積極的な参加を評価する。 ○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4 以上の出席)を満たしており、54 時間の学外実習と終了していること、そして実習記録を完成させていることを前提として、授業態度と参加姿勢 40%、課題レポート 30%、実習評価 30%で判断する。 | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | この授業は、心理実習の事前・事後における学習を通して、臨床心理に関する基本的な知識と技能を高め、自己理解を深めることが目標です。授業の中で触れるさまざまな心理臨床の理論を学び、そして実習で体験する中で、それぞれの流派の人間観や方法論が理解できるようになると思います。 初回授業では受講ルールや成績評価の詳細を説明しますので、受講希望者は必ず第 1 回目の授業に出席してください。なお、受講態度と課題への積極的な取り組みを評価しますので、授業内容に関連しない私語・居眠りや携帯電話の使用、事前に通知のない欠席・遅刻・早退は減点の対象となります。 実習実施の時期により、下記の講義日程は前後する可能性があります。 | | |
| 13. オフィスアワー | 時間帯は決まり次第、授業時に通知します。 | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第 1 回 | オリエンテーション ①授業の全体像 | 事前学習 | シラバスを熟読する。 |
| | | 事後学習 | 講義概要、学習目標、成績評価の方法の詳細を確認する。 |
| 第 2 回 | 心理実習のための知識と技能①(社会常識、実習先でのマナー) | 事前学習 | 実習の手引きを確認し、心理実習で求められる実習生としてのマナーを自分なりに調べておく。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第 3 回 | 心理実習のための知識と技能②(実習前のご挨拶について) | 事前学習 | 実習の手引きを確認し、実習前のご挨拶について熟知しておく。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第 4 回 | 心理実習のための知識と技能③(実習中の指導、実習記録について) | 事前学習 | 実習の手引きを確認し、実習中の指導および実習記録について熟知しておく。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第 5 回 | 心理実習のための知識と技能④(0 歳から 6 歳までの精神発達) | 事前学習 | 心理実習で求められる知識、特に精神発達に関することを自分なりに調べておく。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。 |

| | | | |
|------|---------------------------------------|------|---|
| 第6回 | 心理実習のための知識と技能⑤(6歳から成人以降の精神発達) | 事前学習 | 心理実習で求められる知識、特に精神発達に関することを自分なりに調べておく。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第7回 | 心理実習のための知識と技能⑥(精神病、発達障害、精神遅滞) | 事前学習 | 心理実習で求められる知識、特に精神疾患に関することを自分なりに調べておく。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第8回 | 心理実習のための知識と技能⑦(パーソナリティ障害、不安障害、その他の疾患) | 事前学習 | 心理実習で求められる知識、特に精神疾患に関することを自分なりに調べておく。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第9回 | 心理実習先別事前指導(保健医療分野①病院・診療所) | 事前学習 | 保健医療分野での心理職の仕事、援助対象者について自分なりに調べておく。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第10回 | 心理実習先別事前指導(保健医療分野②その他) | 事前学習 | 保健医療分野での心理職の仕事、援助対象者について自分なりに調べておく。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第11回 | 心理実習先別事前指導(教育分野①適応指導教室・学校) | 事前学習 | 教育分野での心理職の仕事、援助対象者について自分なりに調べておく。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第12回 | 心理実習先別事前指導(教育分野②その他) | 事前学習 | 教育分野での心理職の仕事、援助対象者について自分なりに調べておく。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第13回 | 心理実習先別事前指導(福祉分野①高齢者・児童) | 事前学習 | 福祉分野での心理職の仕事、援助対象者について自分なりに調べておく。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第14回 | 心理実習先別事前指導(福祉分野②障害者) | 事前学習 | 福祉分野での心理職の仕事、援助対象者について自分なりに調べておく。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジュメの重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第15回 | 実習実施 | 事前学習 | 事前実習で学んだことを整理しておく。 |
| | | 事後学習 | 実習内容についての記録をまとめる。 |
| 第16回 | 実習実施 | 事前学習 | 事前実習で学んだことを整理しておく。 |
| | | 事後学習 | 実習内容についての記録をまとめる。 |
| 第17回 | 実習実施 | 事前学習 | 事前実習で学んだことを整理しておく。 |
| | | 事後学習 | 実習内容についての記録をまとめる。 |
| 第18回 | 実習実施 | 事前学習 | 事前実習で学んだことを整理しておく。 |
| | | 事後学習 | 実習内容についての記録をまとめる。 |
| 第19回 | 実習実施 | 事前学習 | 事前実習で学んだことを整理しておく。 |
| | | 事後学習 | 実習内容についての記録をまとめる。 |
| 第20回 | 実習実施 | 事前学習 | 事前実習で学んだことを整理しておく。 |
| | | 事後学習 | 実習内容についての記録をまとめる。 |
| 第21回 | 心理実習事後指導(保健医療分野①病院) | 事前学習 | 実習先での体験を個別に報告する準備を行う。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジュメの重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第22回 | 心理実習事後指導(保健医療分野②診療所) | 事前学習 | 実習先での体験を個別に報告する準備を行う。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジュメの重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第23回 | 心理実習事後指導(保健医療分野③その他) | 事前学習 | 実習先での体験を個別に報告する準備を行う。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジュメの重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第24回 | 心理実習事後指導(教育分野①適応指導教室) | 事前学習 | 実習先での体験を個別に報告する準備を行う。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジュメの重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめておく。 |

| | | | |
|------|--------------------|------|--|
| 第25回 | 心理実習事後指導(教育分野②学校) | 事前学習 | 実習先での体験を個別に報告する準備を行う。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジメの重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第26回 | 心理実習事後指導(教育分野③その他) | 事前学習 | 実習先での体験を個別に報告する準備を行う。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジメの重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第27回 | 心理実習事後指導(福祉分野①高齢者) | 事前学習 | 実習先での体験を個別に報告する準備を行う。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジメの重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第28回 | 心理実習事後指導(福祉分野②児童) | 事前学習 | 実習先での体験を個別に報告する準備を行う。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジメの重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第29回 | 心理実習事後指導(福祉分野③障害者) | 事前学習 | 実習先での体験を個別に報告する準備を行う。 |
| | | 事後学習 | 授業内で配布したレジメの重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめておく。 |
| 第30回 | 確認のワーク | 事前学習 | レポート提出の準備をする。 |
| | | 事後学習 | 授業と実習のまとめをする。 |